

平成22年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ナシ・クワコナカイガラムシ（No.1）

平成22年5月6日

鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

クワコナカイガラムシ越冬卵からのふ化が平年より6日遅い5月6日に認められた。昨年、果実被害が多く認められた園では防除を徹底する必要がある。

2. 情報の根拠

- (1) クワコナカイガラムシ卵のうからの越冬世代幼虫のふ化が、平年より6日遅い5月6日（平年：4月30日）に認められた。
- (2) 向こう1か月の気象予報によると、越冬世代幼虫のふ化最盛日は5月10日前後（平年：5月5日）と見込まれる。

3. 防除上注意すべき事項

- (1) 昨年被害の多かった園では、必ず2回防除を行う。特に、越冬世代は、第1世代及び第2世代よりふ化時期が揃いやすいので、防除を徹底する。
- (2) 昨年度多発した園では、5～7日間隔で以下の時期を目安に2回の防除を行う。
 - ・ 幼虫ふ化最盛期 5月 9～13日
 - ・ 幼虫ふ化終期 5月14～18日少発の園では5月13日前後に1回防除を行う。
- (3) 薬剤はスプラサイド水和剤1,500倍液又はアプロード水和剤1,000倍液などを使用する。
- (4) 薬剤の散布にあたっては、クワコナカイガラムシが集合する枝葉の他、枝の切り口及び粗皮下などに薬剤が十分かかるようにする。
- (5) 農薬の散布にあたっては、農薬の使用基準を遵守する。